

燕地区新規バス路線実証運行について

1. 背景・目的

高齢化が進み高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が増加するなか、将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、公共交通に対するニーズはますます増加することが見込まれます。

そのため、地域住民の移動実態や移動ニーズを踏まえ、人口の集中度が高い燕地区においてコミュニティバスの新規路線の開設に向けた実証運行を行い、利用状況を調査します。

2. 運行内容

(1) 運行期間

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

(2) 運行区間

燕駅～大曲～燕三条駅～燕労災病院～新生町

(3) 運行日

月曜日～金曜日

※祝日、年末年始（12/29～1/3）は運休

(4) 利用料金

100円

※小学生以下は無料

(5) 便数

8便（4往復）

3. 実施スケジュール

2020年5月～ 運行事業者の募集・決定

2020年7月～ 運行区間自治会住民説明会

2020年10月～ 実証運行開始

4. 運行経費

新潟県生活交通確保対策補助金交付要綱における地域の移動手段確保支援事業費補助金の新規導入支援を活用予定としている。

令和3年度以降は、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を用いる予定としている。

5. その他

実証運行開始までに運行事業者と路線区間、バス停留所、時刻表などについて協議し、最終的には9月頃決定予定です。

